

農作業安全研修実施強化期間研修資材

農作業安全チェック ～農用運搬機～

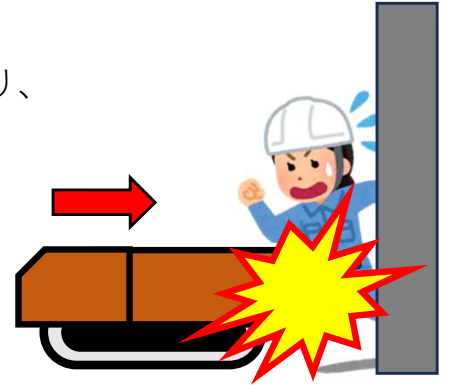
事故事例

①農用運搬機に挟まれた事故（死亡）

【概要】 倉庫内で農用運搬機運転（後進）中、支柱にぶつかり、そのまま運搬機に胸部を圧迫されてしまった。

【考えられる原因】

- ・ 進行方向（背後）の確認が疎かになっていた



②農用運搬機が転倒した事故（死亡）

【概要】 土砂運転中に坂道を下っていた際、運搬機がバランスを崩し道沿いの水田に転落し、農用運搬機の下敷きとなった。

【考えられる原因】

- ①坂道走行中でバランスが悪かった
- ②積み荷が片寄っていた、積載量をオーバーしていた

注意事項



正しい使い方ができていますか？

- 農用運搬機は重傷事故率（重傷度）の高い農機です。
特に「ひかれ・挟まれ」と「転落・転倒」による事故は発生頻度、重傷度ともに高くなっています。
- 農用運搬機を運転（操作）する場合は、進行方向に障害物がないか、速度は出すぎていないか（アクシデントがあった際にしっかりと停止できる速度か）を確認しましょう。
- また、積み荷を荷台の一部に片寄せない、積載量をオーバーさせないことを心がけましょう。



エンジンは切っていますか？

- 農用運搬機から離れる場合は誤作動で動き出さないよう、エンジンを切り、駐車ブレーキをかけましょう。

